

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	◆学ぶ理由・学び方 「やる気の源泉」が習慣を変える／凡事徹底とは何か(20分)／学習がづらいのは「やり方を知らない」から／「心の本音」がやる気を育てる ／自己成長はどうやったら実感できるの？／やる気より、「感覚」と「仕組み」に頼る					
【前期】 9～13回目	◆自己理解 心と向き合い、感情を整理する習慣／自ら動いてもっとワクワク働こう／やりたいことを見つけるセルフコーチング／内省 キャリアの方向性を考える					
【前期】 14～19回目	◆さまざまな学び 「ほめ上手」と「ゴマすり」って何が違う？／NLPを知ってポジティブになろう／本気で変わりたい人の行動イノベーション					
【後期】 20～24回目	◆さまざまな思考 自己肯定感と自己効力感の違いって？／負の感情を前に進む力に変える／なぜポジティブのほうが目標達成しやすいのか？					
【後期】 25～33回目	◆リーダー・チーム 「集合知性」がチームでの成果をつくる鍵／内向型リーダーの強みを発揮するヒント／個人と組織のパフォーマンスを最大限に引き出す方法					
【後期】 34～38回目	◆まとめ・振り返り 「観・在り方」主導のキャリア／チャンスをつかみ取る人の習慣／ブレない自分をつくる7つの問い／先送りをなくす未来の自分デザイン					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～6回目	ガイダンス 受講方法と1年間の授業内容 仕事を想定したEメールの使い方:メールの基本、設定、送受信、アドレス帳の活用、署名の作成					
【前期】 7～12回目	他者に伝える説明:時系列で説明する、情報を整理(グループ分け)して説明する、話を要約して説明する、主観と客観を区別して説明する、指示の手順を考えて説明する					
【前期】 13～18回目	文章の書き方:「話し言葉」と「書き言葉」を区別して書く、5W1Hの要素を組み込んで書く ビジネス文書:ビジネスメールを送信する、ビジネス文書の種類を知る、社内文書の書式と文章作成					
【前期】 19～24回目	コミュニケーション論:コミュニケーションの考え方、言語コミュニケーション(対人/メディア/言葉の言い換え/リフレーミング/説得)・非言語コミュニケーション(表情、視線、傾き、相づち/他者との距離、パーソナル・スペース)					
【後期】 25～31回目	敬語表現:敬語の分類を知る/尊敬語・謙譲語の使い方、間違いやすい敬語、実践・仕事でよく使う敬語					
【後期】 32～38回目	履歴書の書き方:基本データ、自己PRと志望動機 心理学講座:自分を知る、社会からの影響、他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタメ業界講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/レコーディングコース/PA&レコーディングコース /アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ドワンゴへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。					
授業概要						
アーティスト/タレントとプロダクションを中心とする、エンタテインメント業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。						
到達目標						
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	芸能業界の全体像について					
【前期】 5～8回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について					
【前期】 9～12回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について					
【前期】 13～16回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究					
【後期】 17～20回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて					
【後期】 21～24回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて					
【後期】 25～28回目	ホール/ライブハウス/イベントについて					
【後期】 29～30回目	HTMLとCSSの仕組み 1年間の総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音楽理論		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	音楽理論		年次	1・2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	PAコース／PA&レコーディングコース／レコーディングコース／音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学にてクラシックピアノを学んだ後、ピアニストとして活動を開始。クラシック・ポピュラーミュージック・ジャズ等、ジャンルにとらわれず様々なレコーディングやライブに携わり、海外での演奏も行うなど精力的に活動中。					
授業概要						
五線譜を用意し、自ら音符を書き込む。五線譜に書いた音符を手拍子等でリズムを表現する。						
到達目標						
音楽の構成を理論的に分析、把握する技術の修得。楽譜の読み書きが出来る。						
授業計画・内容						
【前期/後期】 1～5回目	自己紹介とアンケート 音に関する基礎知識 Notation 楽譜に関する基礎知識 Notation 記譜法の復習、音符 etc. Notation + 速度、強弱 etc. 各記号等の説明					
【前期/後期】 6～9回目	今までの授業内容の復習 Major scale Ⅱ系のMajor scale Ⅲ系のMajor scale Major scale の調号とKey 復習＋試験対策 冬休み前に今までの復習					
【前期/後期】 10～12回目	今までの復習と試験対策 Major scale と minor scale etc. 試験返却の場合は解説と答え合せ 1/28 or 2/4 どちらかで試験返却					
【前期/後期】 13～15回目	音程とchord 学生へのアンケート etc. で都度決定 今までの授業内容の復習 曲を例に授業の復習 etc.					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	サウンドアナライズ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	サウンドアナライズ		年次	1・2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	PAコース/PA&レコーディングコース/レコーディングコース/音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ベーシストとして活躍する傍ら、楽曲研究を行い教育機関にて楽曲の分析や解説など授業を担当する。				
授業概要					
さまざまな年代、ジャンルの音楽について知識を深める。音楽の歴史背景だけでなく楽曲そのものにも触れていく。					
到達目標					
スタッフとしてアーティストの要望に対応するため音楽ジャンルの幅を広げる。					
授業計画・内容					
【前期/後期】 1～5回目	学生の簡単な知識や好みの把握 自己紹介タイムやアンケート、音楽について話すときに必要不可欠なワードなどを再確認				
【前期/後期】 6～9回目	学生の好みの曲の中から1.2曲ピックアップ やりやすそうな曲を題材にしどう分析していくかを説明。 音楽分析をしつつ、楽譜の読み方などもおさらい。				
【前期/後期】 10～12回目	講師ピックアップ曲を提示して授業 テストを視野に入れつつ音楽用語も				
【前期/後期】 13～15回目	後期テスト テスト振り返り等 総復習				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音響基礎知識		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	音響基礎知識	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	レコーディングコース／PA&レコーディングコース／PAコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。					
授業概要						
レコーディング実習Ⅰ・PA実習Ⅰが実践中心の授業であるのに対して、本授業では、スタジオ内の機材ひとつひとつの名称や使用方法等、基礎知識を学ぶ。						
到達目標						
理論的な理解を深め、正しい機材取扱い方法の修得。物理学的な要素を学び、正しい音響機器の設置方法、音場整理の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	授業説明、最低限の英単語をチェック 基本用語/音の3要素:音の仕組み、音速、、音程(周波数)/音色/音量					
【前期】 6～10回目	マイクについて:マイクとは～ダイナミック、コンデンサー～リボン、チューブ/指向性、近接効果など 音声ケーブル:バランス、アンバランス/スピーカーケーブル、コネクタ					
【前期】 11～15回目	信号の流れ:Mixer、ブロックダイアグラム/マイクレベルとラインレベル/DI、インピーダンス、トランス 楽器の名称と略語/エフェクターについて/EQ:パラメトリック、グラフィック、Filter、パラメータ/GEQ31Band憶える 前期試験					
【前期】 16～18回目	楽器の名称と略語/エフェクターについて/EQ:パラメトリック、グラフィック、Filter、パラメータ/GEQ31Band憶える 前期試験					
【後期】 19～21回目	信号の流れ:Mixer、ブロックダイアグラム(記号) 楽器の名称と略語					
【後期】 22～24回目	DI、インピーダンス、トランス エフェクターについて EQ					
【後期】 25～28回目	Reverb Delay①音響心理(ハース効果含む) Compressor/Limiter スクリーンリーダーのサポートを有効にする					
【後期】 29～30回目	後期試験用復習 or 通常授業 テスト返却と解説 Expander/NoiseGate スピーカー					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PC実習		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/レコーディングコース/PA&レコーディングコース/音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。					
授業概要						
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて						
到達目標						
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	iMacの電源の入れ方 各種アカウントの設定 Macの基本操作の確認					
【前期】 5～8回目	【Word】 Wordの使用方法 タイピング練習を兼ねた文字入力					
【前期】 9～12回目	【Excel】 簡単な計算 タイムテーブル作成					
【前期】 13～16回目	【イラストレーター導入】 基本ツールの説明 図形描画、色付け、最前面、最背面					
【後期】 17～20回目	【ペンツール】 直線を描く/スムーズポイント/コーナーポイント 直線から曲線への変化					
【後期】 21～24回目	・パスの修正の仕方 ・整列設定(等間隔)・回転、移動等 ・ペンツール総合問題					
【後期】 25～28回目	Excelによる計算法 Excelによる精算書作成					
【後期】 29～30回目	課題提出 1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	DAW実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	DAW基礎知識		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。					
授業概要						
ProToolsを使ったPC上でのMixのノウハウを学ぶ。 「音」を聴覚だけではなく視覚で読取る。						
到達目標						
ProTools上でのエフェクト・EQを含めたMix技法の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	DAWとは？、ProToolsとは ProTools Roomの使い方、ファイルの扱い方、ショートカットキー					
【前期】 6～10回目	AG+Vo、Key+Vo、Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX) Master Fader / Master Level / Reverb (Aux Track) / Delay (Aux Track)					
【前期】 11～15回目	AG+Vo、Key+Vo、Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX)。 Reverb (Aux Track) / Delay (Aux Track) / EQ / Filter (INSERT)					
【前期】 16～18回目	AG+Vo、Key+Vo、Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX) Comp (INSERT)					
【後期】 19～21回目	AG+Vo、Key+Vo、Orch+Vo など編成の小さな演奏のバランスどり(Reverb,EQ,Comp) EQとCompの順番、トラックグループ EQとCompの順番を気にしながら音作り					
【後期】 22～24回目	Band STEM でのバランスどり(MIX)。 バランスのとり方 Reverb / Delay / EQ / Comp を使ってMIX					
【後期】 25～28回目	Dr Kit バランス(全部バラバラ)でのバランスどり(MIX)。 Reverb(複数) / Delay / EQ / Comp を使ってMIX Expander / Noise Gate、Reverb / Delay / EQ / Comp / Gate を使ってMIX					
【後期】 29～30回目	Dr Kit バランス(全部バラバラ)でのバランスどり(MIX)。 他の人のMIXを聴いてみる 後期テスト					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習Ⅰ - Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	PA実習Ⅰ - Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。				
授業概要					
本館ホールにてチームに分かれたセットアップ～チェックの基礎的な練習。 小規模編成のミキシング技術の習得。					
到達目標					
PAについての基礎的な内容、結線の仕組みシステムの構築技術の修得					
授業計画・内容					
【前期】 1～4回目	PA実習について PAとは、ホールの注意事項、2年生と合同・コミュニケーション 電源について 主幹、電源、テスター、Cable等				
【前期】 5～12回目	簡易SYSTEM MG16、MAXwithST TB,HPLlevel SYSTEMを変えて MGP32x、725x2、Passive+Sub等				
【前期】 13～20回目	前期試験対策				
【前期】 21～28回目	資料の見方、ホールについて TT、PLOT、回線表、ホールについて SYSTEMを変えてMGP32x、725x2、Passive+Sub 3way				
【後期】 29～36回目	カラオケ(DAM)/A.Glive実践(バランスをとる・モニターに返す) Digital Mixerについて(M7CLの説明)				
【後期】 37～44回目	Digital Mixerについて(M7CL/patch/INSERT/SCENEMEMORY/) VERTECの説明・デジタルAMP MIC視聴				
【後期】 45～52回目	音源再生：SOUND CHECKやり方、BANDのバランスをとる 企画ライブに向けて準備：資料に沿って仕込みを实践、転換練習/sound check、転換、チューニング				
【後期】 53～60回目	有線IEMの繋ぎ 1年間の総まとめ				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習Ⅰ-Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	PA実習Ⅰ-Ⅱ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験:30年。大手PA会社を経て現在数々のコンサートツアー現場で活躍中 一方ホール管理スタッフも同時に担当しマルチに活躍				
授業概要					
本館ホールにてチームに分かれたセットアップ～チェックの反復練習。 小規模～中規模にかけての編成のミキシング技術の習得。					
到達目標					
PAについての応用的な内容、結線の仕組みシステムの構築技術の修得□					
授業計画・内容					
【前期】 1～4回目	機材について 主幹、機材の持ち方、運び方 電源について 電源について、テスター使い方等				
【前期】 5～12回目	SYSTEMを変えて MGP32x、725x1、Passive SYSTEMを変えて MGP32x、725x2、Passive+Sub等				
【前期】 13～20回目	前期試験対策				
【後期】 21～28回目	SYSTEMを変えて MGP32x、725x2、Passive+Sub 3way				
【後期】 29～36回目	カラオケ(DAM)/A.Glive実践(バランスをとる・モニターに返す) Digital Mixerについて(M7CLの説明)				
【後期】 37～44回目	Digital Mixerについて(M7CL/patch/INSERT/SCENEMEMORY/) VERTECの説明・デジタルAMP MIC視聴				
【後期】 45～52回目	音源再生:SOUND CHECKやり方、BANDのバランスをとる 企画ライブに向けて準備:資料に沿って仕込みを実践、転換練習/sound check、転換、チューニング				
【後期】 53～60回目	有線IEMの繋ぎ 1年間の総まとめ				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					